

Curves®

The power to amaze yourself.®

——— 明日の自分にきっと驚く

2025年8月期第1四半期 決算補足説明資料

2025年1月14日

東証プライム市場：7085

株式会社カーブスホールディングス

目次

1. 2025年8月期1Q実績サマリー	3
2. 2025年8月期1Q実績詳細	4
3. 1Qの事業状況と取り組み	19
4. 2Q以降の見通しと戦略	27
Appendix	31

■ 2025年8月期1Q実績サマリー

□ **会員数** **86.0万名** (前期末比 4.2万名純増)
(前年同期末比 5.0万名純増)

□ **店舗数** **1,984店舗** (前期末比 6店舗純増)

□ **チェーン売上(1Q)** **208.9億円** (前同比 110.2%)

▷ **会費入会金売上** **157.0億円** (前同比 106.7%)

▷ **会員向け物販売上** **51.8億円** (前同比 122.0%)

チェーン売上：フランチャイズ店を含めた末端売上、全店の会費入会金売上および会員向け物販売上の合計

□ **売上高(1Q)** **88.5億円** (前同比 117.4%)

□ **営業利益(1Q)** **16.9億円** (前同比 163.9%)

* 会員数、店舗数、チェーン売上は「女性だけの30分健康フィットネス カーブス」の数値



2025年8月期1Q実績詳細

連結損益計算書

(単位：百万円)	2025年8月期（当期）	2024年8月期（前期）	前同比
	1Q(9-11月)実績	1Q(9-11月)実績	
売上高	8,854	7,544	117.4%
売上原価	4,896	4,319	113.4%
（売上原価率）	55.3%	57.2%	
売上総利益	3,957	3,225	122.7%
（売上総利益率）	44.7%	42.8%	
販管費	2,258	2,189	103.2%
のれん・商標権償却費*	381	369	103.3%
営業利益	1,698	1,036	163.9%
（営業利益率）	19.2%	13.7%	
経常利益	1,700	1,053	161.4%
（経常利益率）	19.2%	14.0%	
当期純利益	1,064	666	159.6%
（当期純利益率）	12.0%	8.8%	

* ミドル建て償却費の円換算額を記載しております。

連結損益計算書（地域別）

(単位：百万円)	2025年8月期（当期）		2024年8月期（前期）		前同比
	1Q（9-11月）実績	構成比	1Q（9-11月）実績	構成比	
売上高	8,854	100.0%	7,544	100.0%	117.4%
国内	8,729	98.6%	7,442	98.6%	117.3%
海外	124	1.4%	101	1.4%	122.4%
営業利益	1,698	19.2%	1,036	13.7%	163.9%
国内	2,191		1,615		135.6%
海外	△65		△162		-
調整額	△427		△416		-
(期中平均為替レート) 米ドル	150.26円		145.44円		4.82円 円安

* 海外事業の売上・営業利益について

海外事業は、海外法人2社（Curves International, Inc. , Curves Europe B.V. ）によるグローバルフランチャイズ事業、欧州FC本部事業で構成されています。

海外事業売上、営業利益には、日本国内事業からのCurves International, Inc.へのロイヤルティ支払い、フィットネス機器購入などの売上、海外子会社2社からの日本法人への指導料などのコストは含まれておりません。

* 営業利益の調整額項目について

特定の地域に帰属しない費用項目で、のれん・商標権償却費などです。

スポット：FC新規出店や契約更新などによって得られる一時的な収入

- ・FC新規出店に伴う加盟金やフィットネス機器販売などの収入
- ・契約更新に伴うフィットネス機器販売などの収入

ベース：店舗数、会員数などに連動して得られる継続的な収入

国内

ロイヤルティ等

FC店舗会費売上などに対するロイヤルティや
会員管理事務手数料などの収入

フランチャイズ関連

その他FC店舗から得られる収入

会員向け物販

会員向けの商品販売による収入、当社グループが会員へ
直販し販売手数料をFC店に支払

直営事業

直営店経営による収入

その他

その他

海外

売上高内訳

(単位：百万円)	2025年8月期（当期）		2024年8月期（前期）		前同比
	1Q（9-11月）実績	構成比	1Q（9-11月）実績	構成比	
売上高	8,854	100.0%	7,544	100.0%	117.4%
国内	8,729	98.6%	7,442	98.6%	117.3%
スポット	278	3.1%	120	1.6%	230.8%
ベース	8,450	95.4%	7,322	97.1%	115.4%
ロイヤルティ等	1,855	21.0%	1,751	23.2%	105.9%
FC関連	524	5.9%	503	6.7%	104.1%
会員向け物販*	5,221	59.0%	4,288	56.8%	121.8%
直営事業	803	9.1%	739	9.8%	108.7%
その他	45	0.5%	38	0.5%	117.5%
海外	124	1.4%	101	1.4%	122.4%

* 会員向け物販売上には、FC加盟企業に販売した商品の売上高が含まれております。

連結損益計算書トピック (前年同期比)

前期1Q比較

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期1Q (24年9月-24年11月)	88.5億円 (前同比+13.0億円)	16.9億円 (+6.6億円)	17.0億円 (+6.4億円)	10.6億円 (+3.9億円)
前期1Q (23年9月-23年11月)	75.4億円	10.3億円	10.5億円	6.6億円

当期1Q売上高 88.5億円 前同比+13.0億円(117.4%)

①ロイヤルティ等収入の増加

・ 会員数 ^{前期1Q末} 80.9万会員 → ^{当期1Q末} 86.0万会員へ 5.0万会員純増

②会員向け物販収入の増加

・ 会員向け物販売上高* ^{前期1Q} 42.8億円 → ^{当期1Q} 52.2億円へ

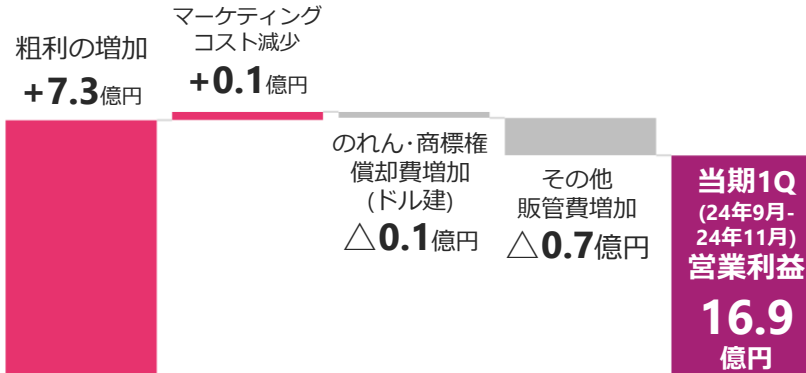
・ 前期2Qより発売のウルトラプロテイン、ヘルシービューティの販売数が大幅増、順調に推移

* 会員向け物販売上には、FC加盟企業に販売した商品の売上高が含まれております。

連結損益計算書トピック (前年同期比)

当期1Q営業利益 16.9億円 前同比+6.6億円(163.9%)

当期1Q(24年9月-24年11月)の前期1Q(23年9月-23年11月)からの増減



前期1Q
(23年9月-
23年11月)
営業利益

10.3
億円

粗利
増減

+7.3
億円

販管費
増減

販管費の増加 △0.7億円

* △は、販管費増、利益減

当期1Q
(24年9月-
24年11月)
営業利益
16.9
億円

粗利の増加

RT等収入、会員向け物販収入増加等

マーケティングコスト減少

会員数・入会数増に伴う
フランチャイズ加盟店からの
広告分担金供出額増加等による

のれん・商標権償却費増加 0.1億円

平均為替レート(1ドル)

前期1Q 145.44円 当期1Q 150.26円

その他販管費増加

人件費増、システム関連費増など

連結損益計算書トピック (前Q比)

11

前期4Q比較

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期1Q (24年9月-24年11月)	88.5億円 (前Q比△0.9億円)	16.9億円 (+6.9億円)	17.0億円 (+7.0億円)	10.6億円 (+4.2億円)
前期4Q (24年6月-24年8月)	89.5億円	10.0億円	10.0億円	6.4億円

①ロイヤルティ等収入の増加

・ 会員数 ^{前期末} 81.7万会員 → ^{当期1Q末} 86.0万会員へ 4.2万会員純増

②会員向け物販収入の減少

・ 会員向け物販売上高* ^{前期4Q} 55.8億円 → ^{当期1Q} 52.2億円へ
1Qは例年定期購入型商品の販売数減少

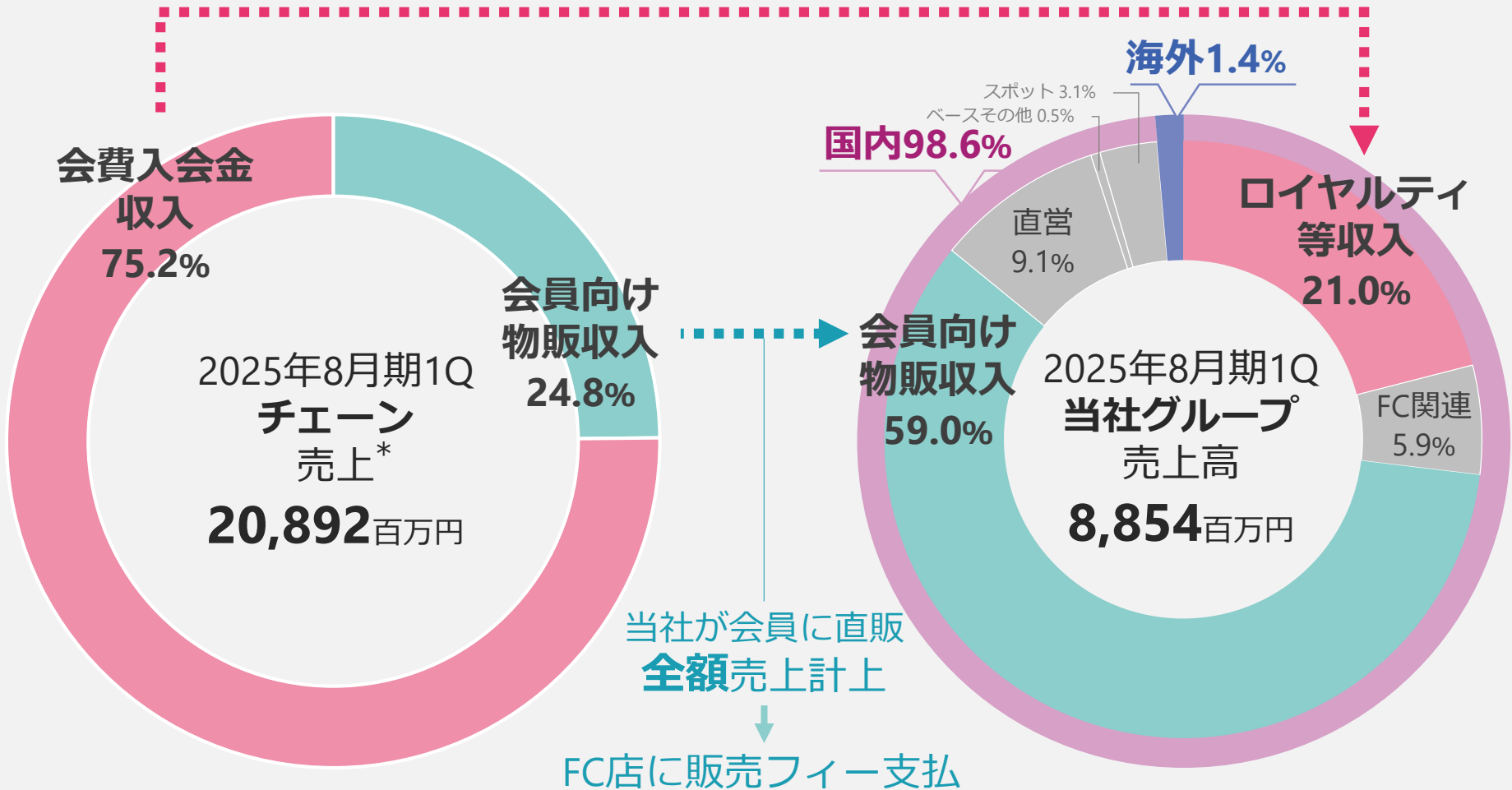
③販管費の減少

・ 広告宣伝費等減少 前期4Qは広告宣伝費を積み増し

* 会員向け物販売上には、FC加盟企業に販売した商品の売上高が含まれております。

会費入会金収入と会員向け物販収入の 当社グループの売上計上について

FC加盟店からFC契約に基づき会費入会金収入の一部を徴収

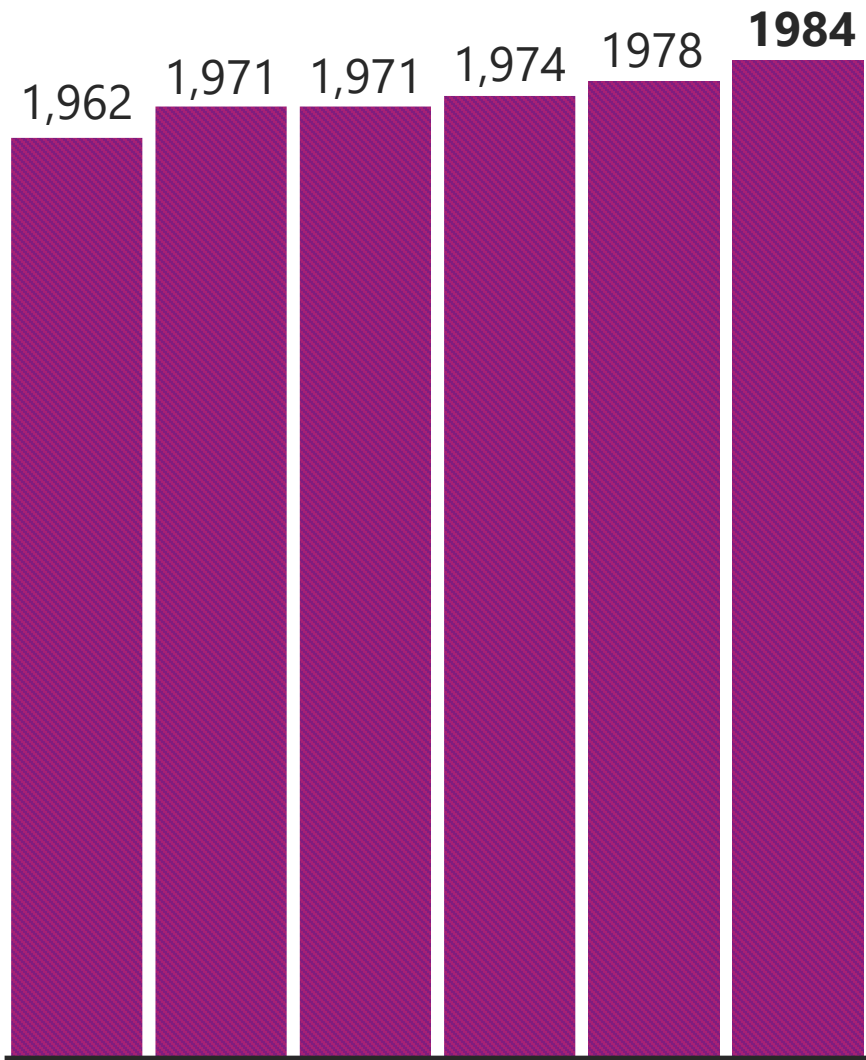


連結貸借対照表

(単位：百万円)	2025年 8月期1Q末	2024年 8月期末	前期末差
流動資産	14,434	15,490	△ 1,055
現預金*	6,797	8,296	△ 1,498
受取手形・売掛金	4,895	5,128	△ 233
商品	1,693	1,225	+467
固定資産	22,708	25,884	△ 3,176
有形固定資産	471	483	△ 11
無形固定資産	21,254	24,238	△ 2,983
のれん	1,389	1,598	△ 208
商標権	18,133	20,842	△ 2,708
ソフトウェア	1,729	1,672	+57
投資その他の資産	981	1,163	△ 181
資産合計	37,142	41,374	△ 4,232
流動負債	10,352	11,654	△ 1,301
短期借入金（1年内長期借入金含む）	2,977	3,290	△ 312
固定負債	9,237	10,311	△ 1,073
長期借入金	4,865	5,375	△ 510
負債合計	19,590	21,965	△ 2,375
有利子負債	7,843	8,665	△ 822
純資産合計	17,552	19,409	△ 1,857
株主資本	13,377	13,158	+219
負債・純資産合計	37,142	41,374	△ 4,232
(期末為替レート) 米ドル	142.73円	161.07円	18.34円 円高

店舗数

(単位：店舗)



女性だけの30分
健康フィットネス
カーブス

国内

1,984 店舗

1Q(9-11月)

出店数

6 店舗

閉店数

0 店舗

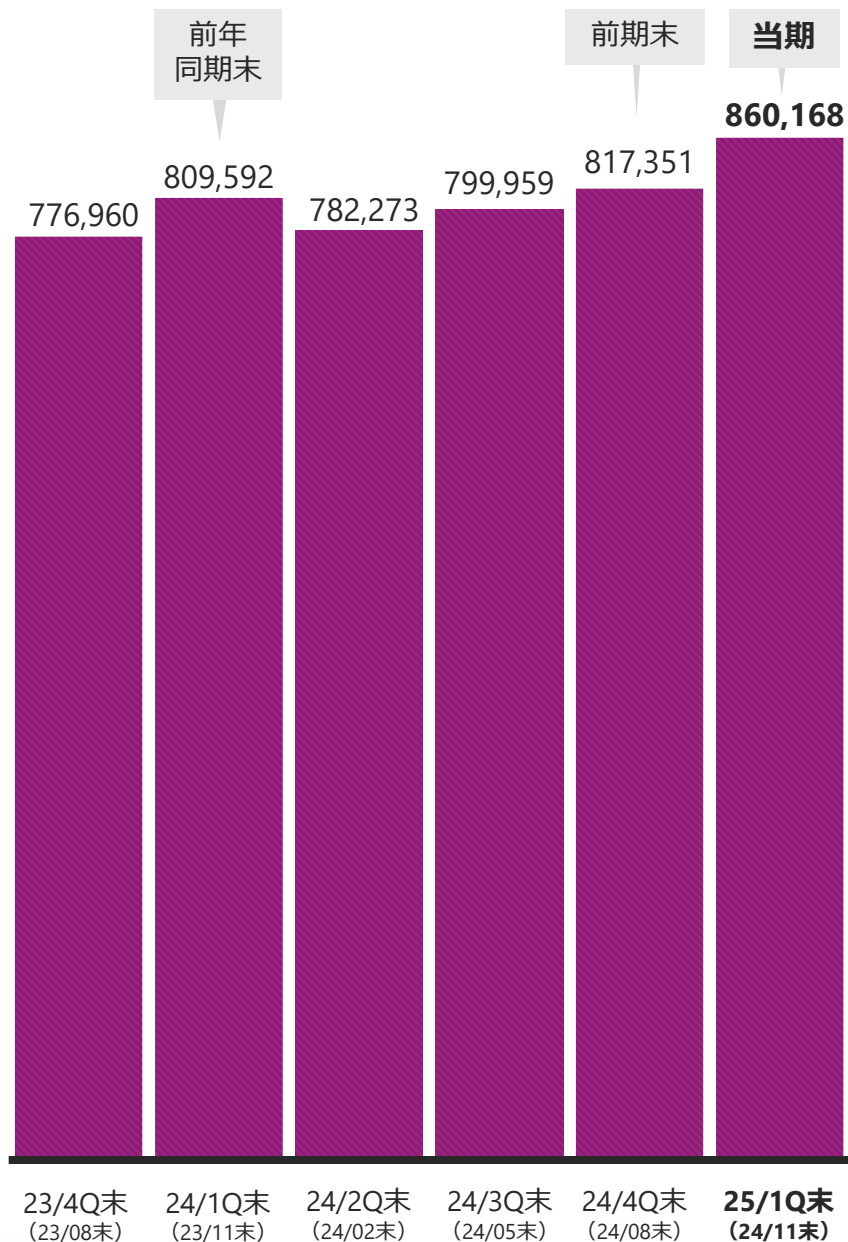
純増数

+6 店舗

23/4Q末 (23/08末) 24/1Q末 (23/11末) 24/2Q末 (24/02末) 24/3Q末 (24/05末) 24/4Q末 (24/08末) **25/1Q末 (24/11末)**

会員数

(単位：名)



女性だけの30分
健康フィットネス
カーブス

会員数

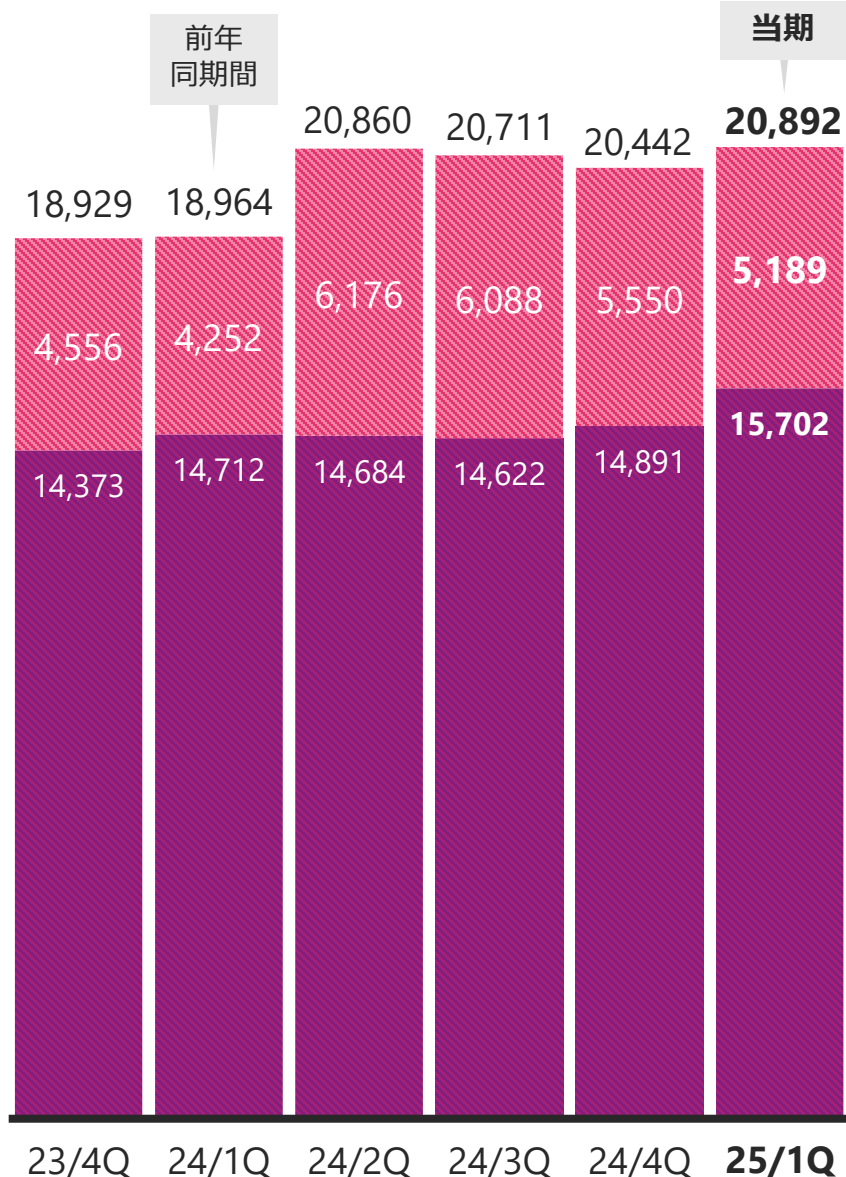
86.0 万名

前年同期末比 5.0 万名純増

前期末比 4.2 万名純増

チェーン売上高

■ 会員向け物販 ■ 会費入会金 (単位：百万円)



女性だけの30分
健康フィットネス
カーブス

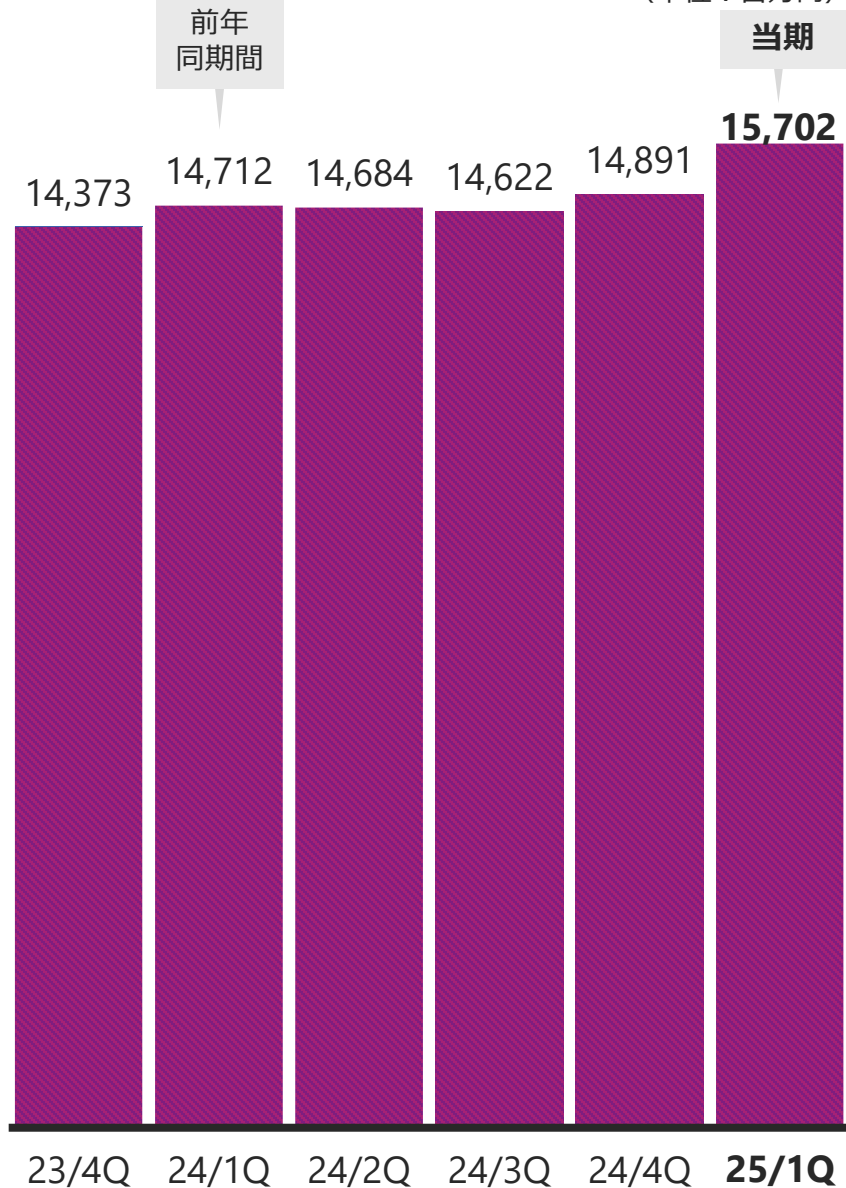
25/08 1Q
実績 **208.9**億円

前年同期間
24/08 1Q比 **110.2%**

前Q
24/08 4Q比 **102.2%**

会費入会金売上高

(単位：百万円)



女性だけの30分
健康フィットネス
カーブス

25/08 1Q
実績 **157.0** 億円

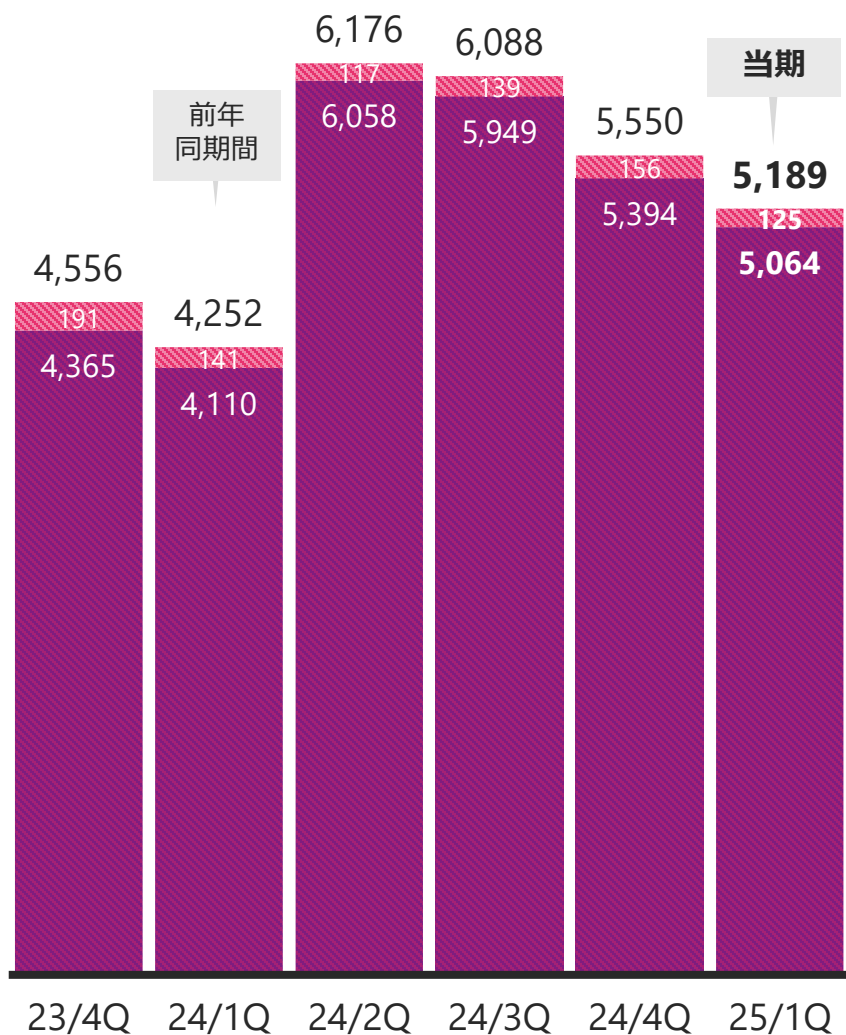
前年同期間
24/08 1Q比 **106.7%**

前Q
24/08 4Q比 **105.4%**

会員向け物販売上高

■ その他会員向け物販売上
■ 定期購入型商品売上

(単位：百万円)



女性だけの30分
健康フィットネス
カーブス

25/08 1Q
実績

51.8 億円

前年同期間
24/08 1Q比

122.0%

前Q
24/08 4Q比

93.5%

■ ■ ■ 1Qの事業状況と取り組み

会員数の増大

- ▶顧客満足度向上による退会率低減、顧客生涯価値向上
- ▶引き続きマーケティング強化
 - ・年3回の魅力的なキャンペーン
 - ・TVCM、WEBなどのメディアミックスマーケティング
 - ・口コミ紹介マーケティング
 - ・地域密着プロモーション
 - ・自治体、団体との連携によるシニア層の掘り起こし

会員向け物販の拡大

- ・会員サポート強化(運動指導、習慣化指導、食事相談)
プロテイン、ヘルシービューティ定期購入者数、販売数増
- ・ヘルシービューティは契約率向上の余地が大きく一層の注力

オンラインフィットネス

- ・ハイブリッド型(おうちでカーブスWプラン)に注力

人的資本の強化

- ・労働生産性向上
(従業員一人当たり付加価値向上×労働時間削減)
- ・FC加盟企業も含めた待遇向上策の推進

👉 **働きがい(やりがい×待遇)接客サービス業No.1を目指す**

新事業の創造と本格展開へ

- ・メンズ・カーブスなどの新業態の業態力向上、多店舗展開本格スタートへ

海外事業

- ・欧州：多店舗化に向けた実験店舗出店、ビジネスモデル構築

チェーン売上高推移（四半期単位）

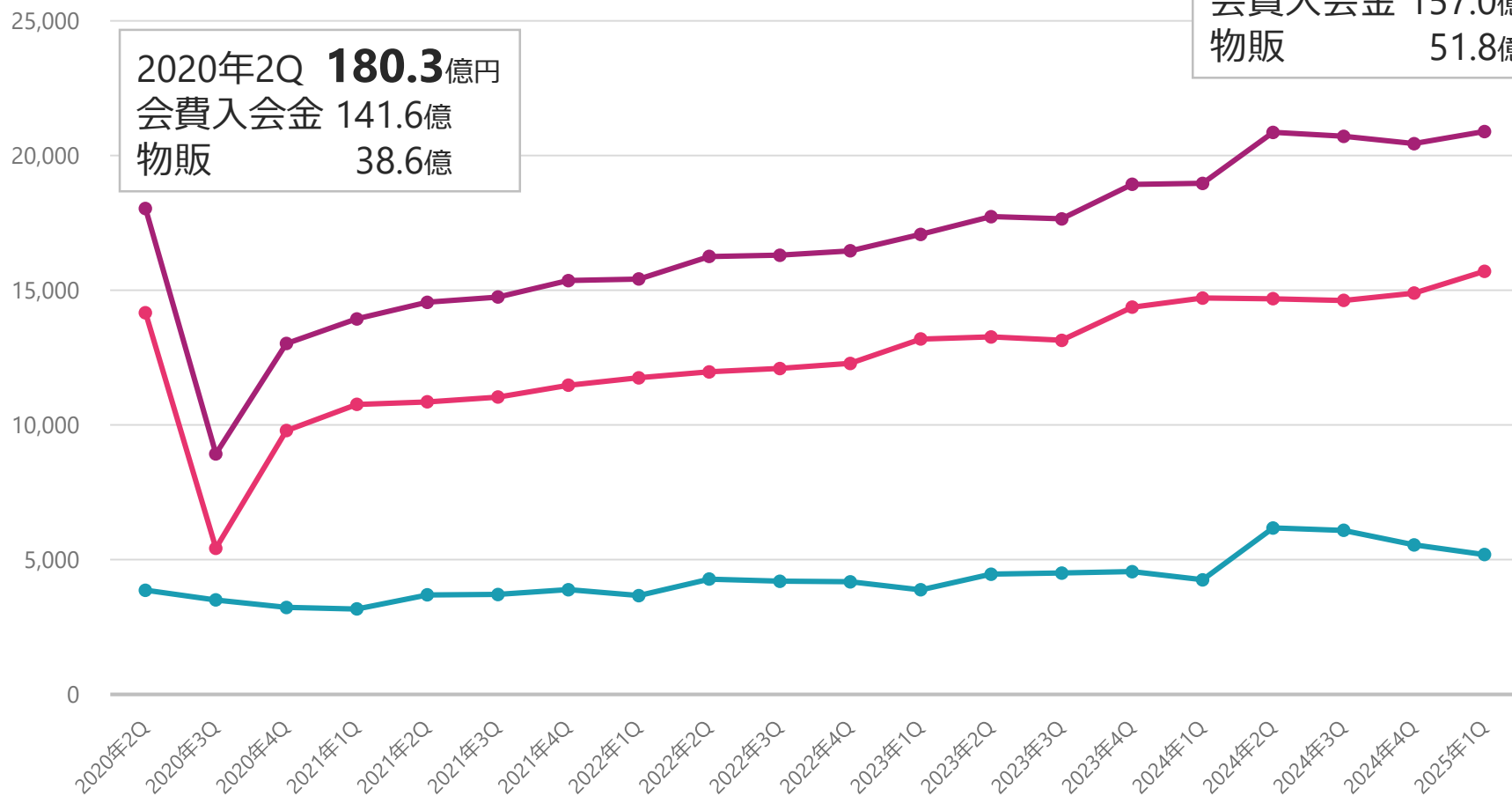
会費入会金売上、会員向け物販売上ともに過去最高水準で推移

(単位：百万円)

● チェーン売上 ● 会費入会金売上 ● 会員向け物販売上

2025年1Q **208.9**億円
会費入会金 157.0億
物販 51.8億

2020年2Q **180.3**億円
会費入会金 141.6億
物販 38.6億



キャンペーンによる新規入会強化 23

1Q末会員数86.0万名

前期末比+4.2万名

新規入会募集キャンペーン実施

- ・9月、10月に各10日間ほどTVCMを集中投下
- ・8月末から9月にかけて情報番組露出
- ・TV、WEB、地域販促等のマーケティング
→強みである口コミ紹介の後押しに



会員様へのサービス品質向上も両立

9-11月平均月次退会率 **1.98%**

過去最低
水準

オンラインサービス強化

24

2024年11月

店舗とオンラインのハイブリッドサービス

「おうちでカーブスWプラン」

→店舗プランの会員様向けに
提案するキャンペーンを実施



👉 **2.6万名**がWプランへ切替

2025年8月期1Q末会員数86.0万名のうち、

Wプラン会員数5.1万名に

おうちでカーブスのみ会員を含む

オンラインサービス利用会員は7万名に

メンズ・カーブス

1Q 1店舗オープン👉20店舗に

集客、サービスノウハウの
磨き上げに注力

▶ 既存店舗の業績向上、
1Q出店店舗の順調な立ち上げ
を実現

■メンズ・カーブス出店エリア

●メンズ・カーブス新規出店店舗

*Men's
Curves*

The power to amaze yourself.®



海外事業

重点地域の状況

欧州(スペイン・イタリア・英国を中心に8カ国)

2024年9月末現在129店舗

- * 当社グループがフランチャイズ本部を経営する直轄エリアのみ。
- * 海外は決算期のずれにより2カ月遅れでの連結取込み

**多店舗化に向けた実験店舗出店、
ビジネスモデル構築中**



2Q以降の見通しと戦略

業績予想

現時点で上期・通期業績予想に変更はありません

(単位：百万円)	2025年8月期（当期）		2024年8月期（前期）	
	上期(9-2月)	通期(9-8月)	上期(9-2月)	通期(9-8月)
	予想	予想	実績	実績
売上高	18,200	38,000	17,028	35,465
営業利益	3,025	6,300	2,809	5,458
（営業利益率）	16.6%	16.6%	16.5%	15.4%
経常利益	3,015	6,250	2,792	5,472
（経常利益率）	16.6%	16.4%	16.4%	15.4%
当期純利益	1,900	4,000	1,805	3,566
（当期純利益率）	10.4%	10.5%	10.6%	10.1%

<2Q予想概要>

売上高

- ・会員数は計画を上回る推移（1Q4.2万純増、86.0万会員に）
2Qは例年会員数純減の計画
- ・会員向け物販収入 2Q12月に「食生活の相談」強化月間展開
プロテイン、ヘルシービューティ定期購入者数、販売数増の計画

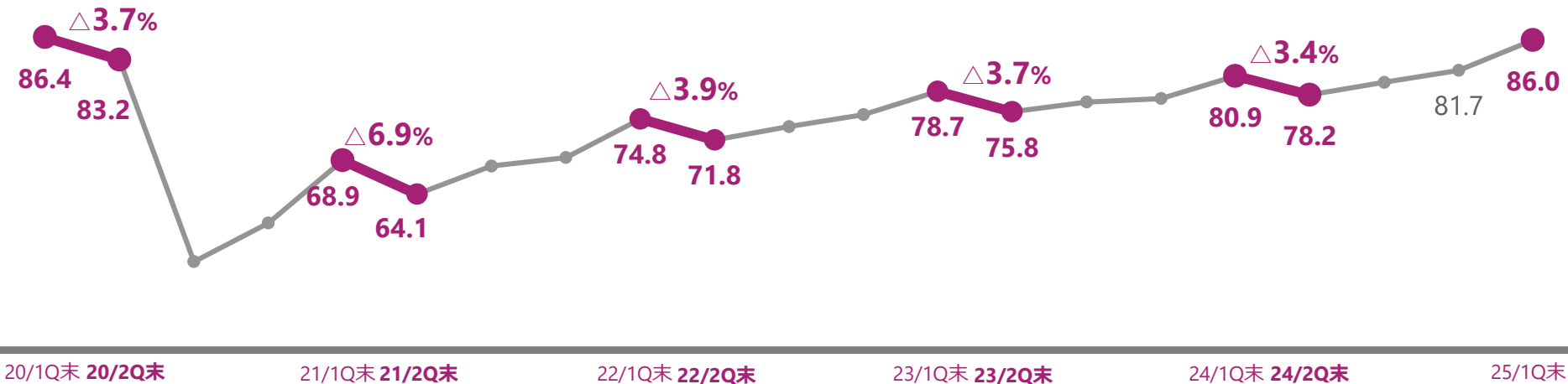
営業利益

- ・2Qは、1Q比/前年比とも費用増加見込み
→一部1Qから費用の持ち越しあり および 研修費等増加見込み
一方、季節要因により、例年マーケティングコストは1Q比減少の見込み

会員数純減の予想

【四半期ごとの実質会員数変化（単位：万名）】

2Qは季節的に会員数純減の傾向



- ・ 2Qは季節要因により1Q対比で入会数が減少
☞ 会員数は例年1Q末比純減
- ・ 2Qは例年、マーケティングコストも抑制

2025年8月期2Qの取り組み

30

2024年12月

食生活の相談強化月間を展開

運動指導、習慣化指導とともに食事相談を強化

👉プロテイン、ヘルシービューティ提案👉購入者数増へ

ヘルシービューティ
新味をリリース



ヘルシービューティ
50-60代会員様向け商品

現場の声、食事調査、インサイ
ト調査から把握した50-60代
会員様のお悩みを解決し、
不（不満・不便・不安など）
を解消する独自の新品



ヘルシービューティ 既存ラインナップ

2025年1-2月

サービス強化👉顧客満足度向上👉春以降の会員数増へ



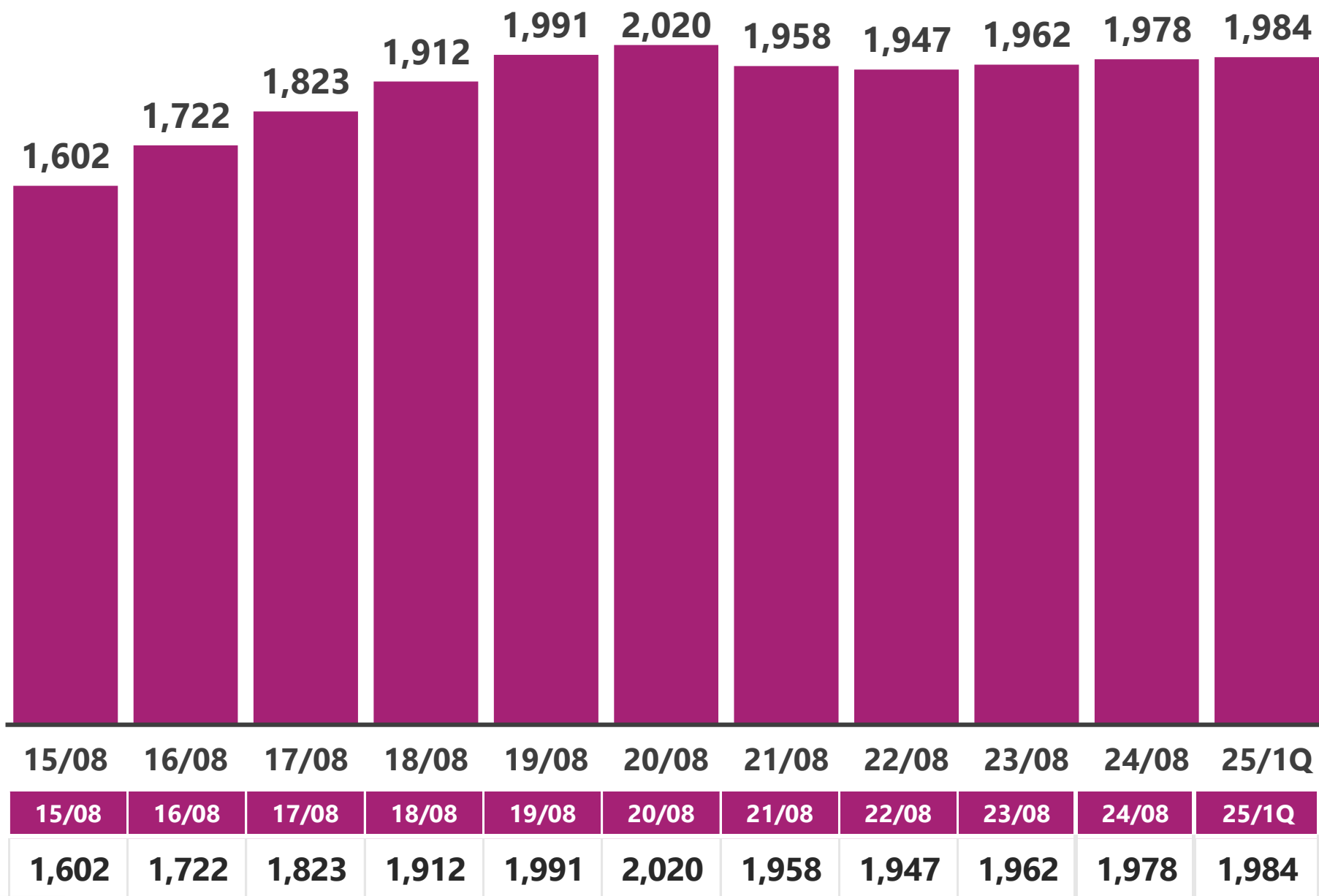
Appendix

■ カーブス事業の推移

店舗数の推移

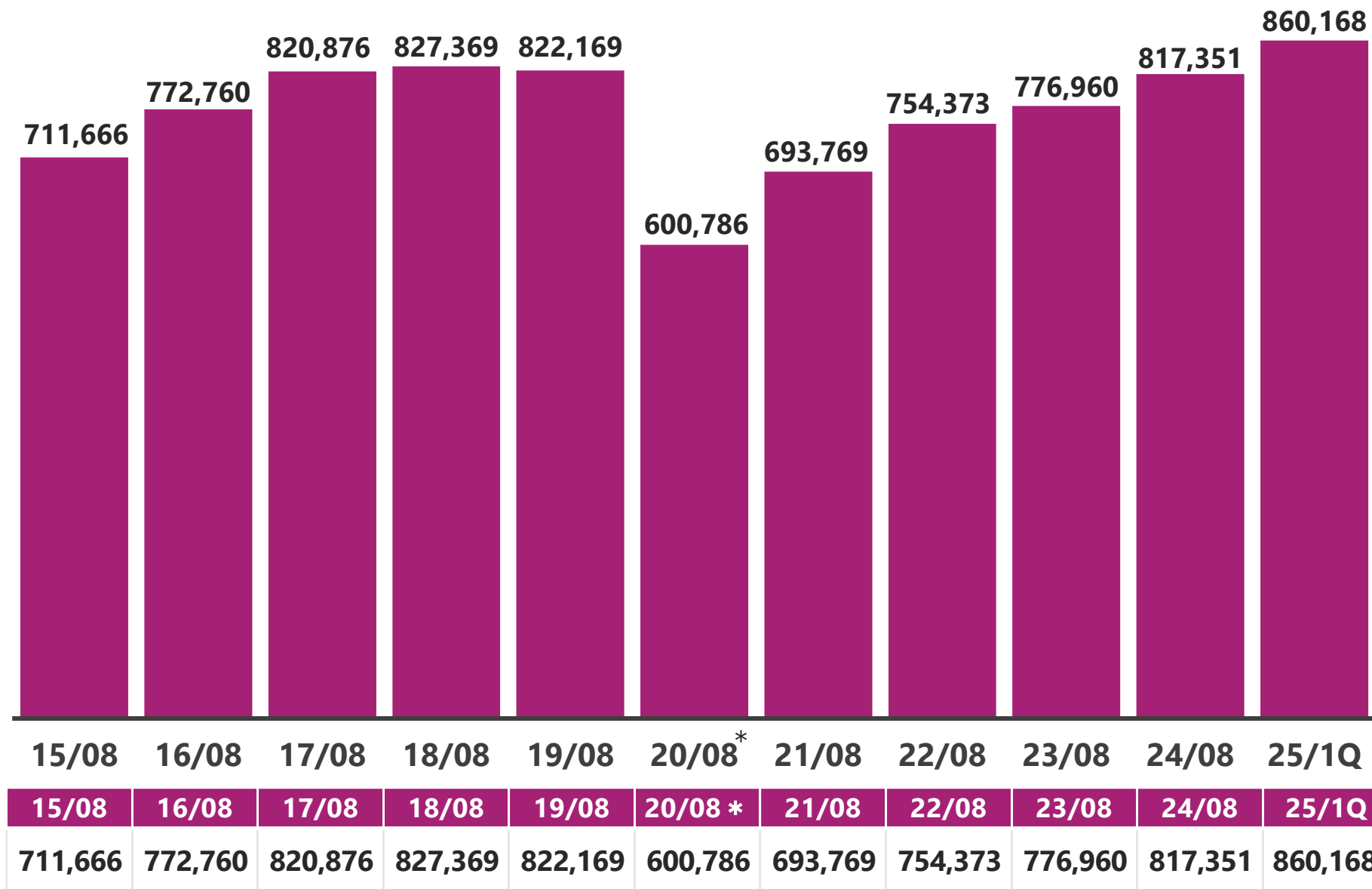
33

(単位：店舗)



会員数の推移

(単位：名)



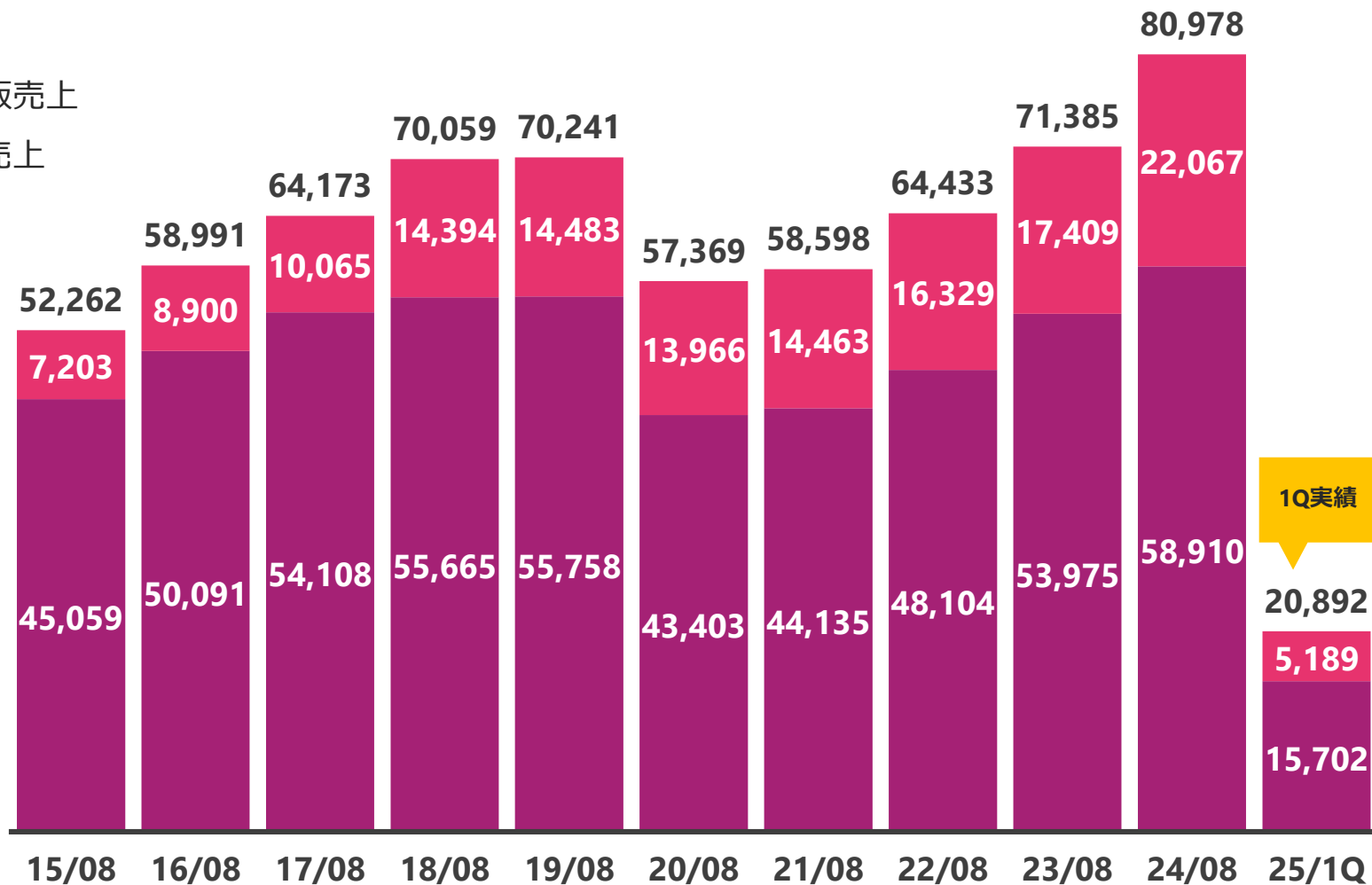
* 20/08期は特別休会会員を除く実質会員数です。

* 「女性だけの30分健康フィットネスカーブス」の数値

チェーン売上高推移

(単位：百万円)

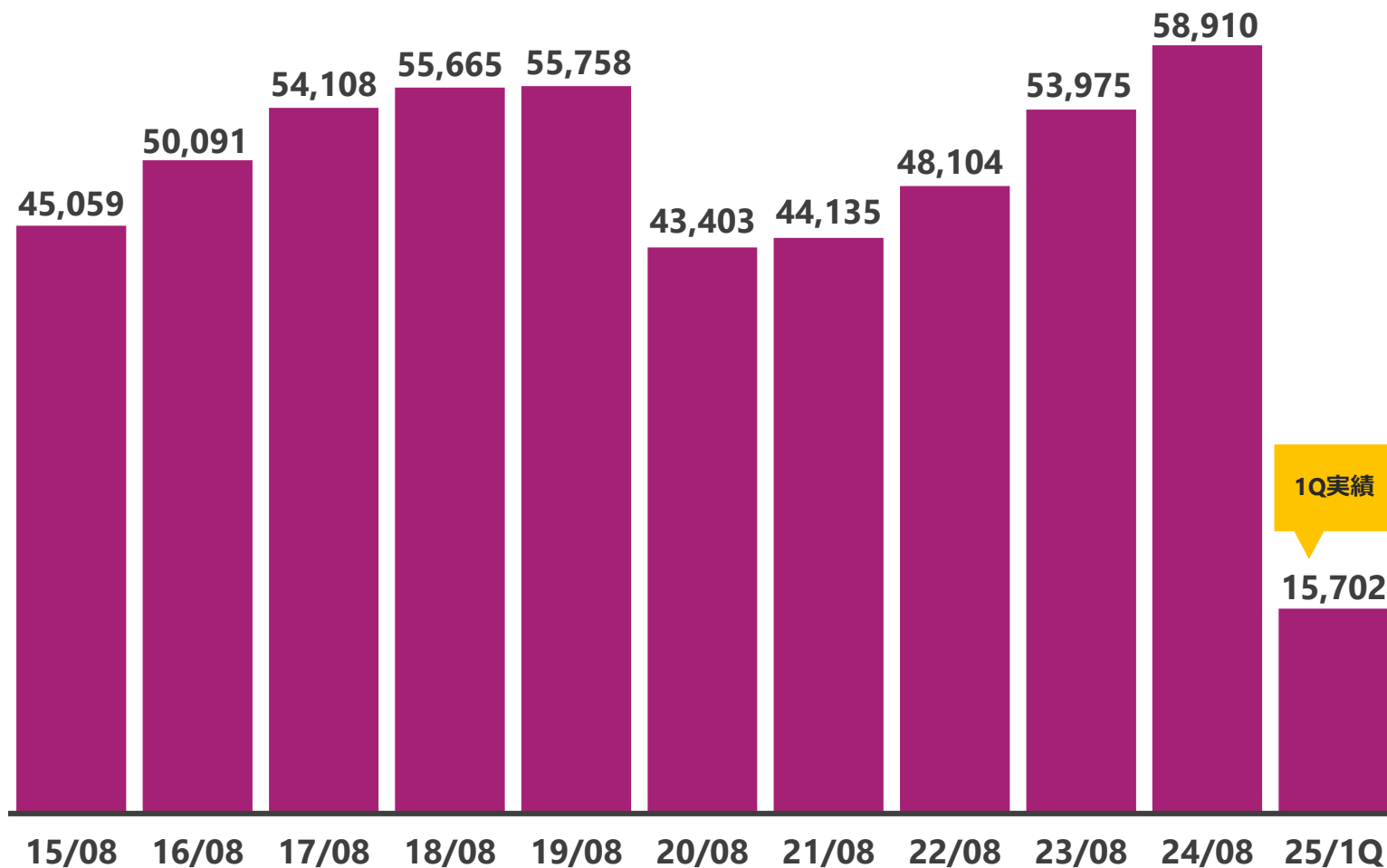
- 会員向け物販売上
- 会費入会金売上



	15/08	16/08	17/08	18/08	19/08	20/08	21/08	22/08	23/08	24/08	25/1Q
チェーン売上高	52,262	58,991	64,173	70,059	70,241	57,369	58,598	64,433	71,385	80,978	20,892
会員向け物販売上	7,203	8,900	10,065	14,394	14,483	13,966	14,463	16,329	17,409	22,067	5,189
会費入会金売上	45,059	50,091	54,108	55,665	55,758	43,403	44,135	48,104	53,975	58,910	15,702

会費入会金売上高推移

(単位：百万円)

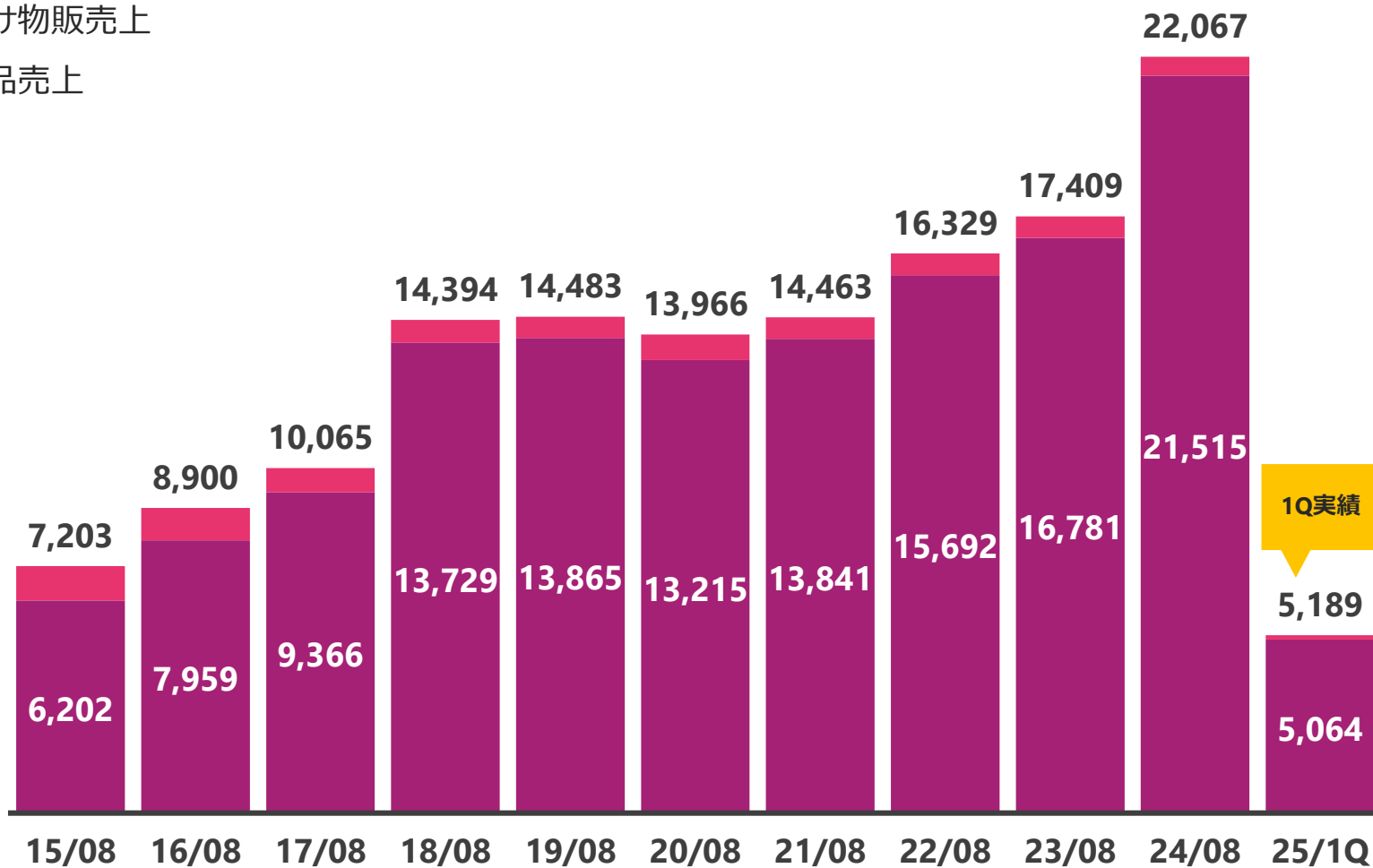


	15/08	16/08	17/08	18/08	19/08	20/08	21/08	22/08	23/08	24/08	25/1Q
会費入会金売上	45,059	50,091	54,108	55,665	55,758	43,403	44,135	48,104	53,975	58,910	15,702

会員向け物販売上高推移

(単位：百万円)

- その他会員向け物販売上
- 定期購入型商品売上



1Q実績

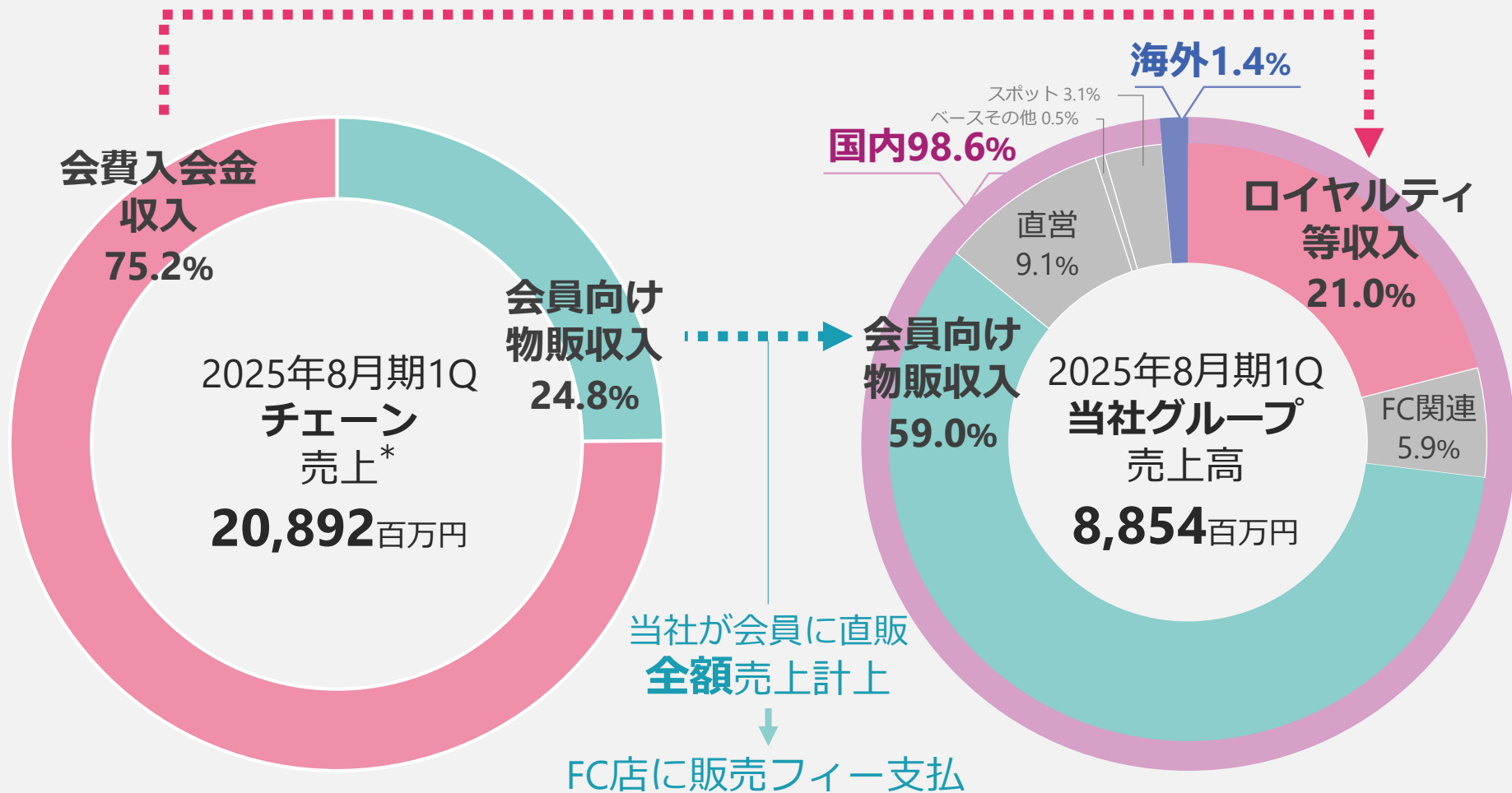
5,189

5,064

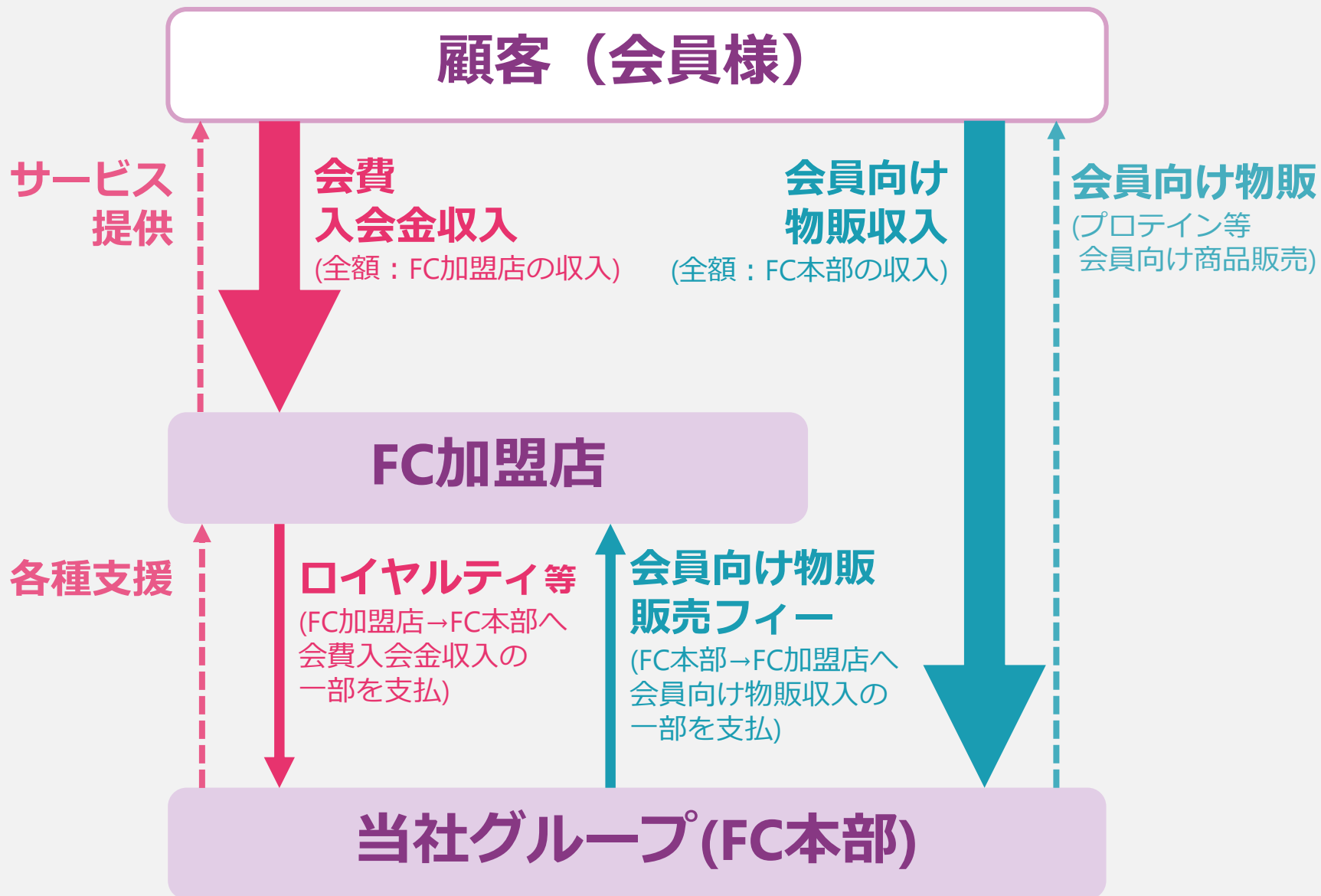
	15/08	16/08	17/08	18/08	19/08	20/08	21/08	22/08	23/08	24/08	25/1Q
会員向け物販売上	7,203	8,900	10,065	14,394	14,483	13,966	14,463	16,329	17,409	22,067	5,189
内) 定期購入型商品売上	6,202	7,959	9,366	13,729	13,865	13,215	13,841	15,692	16,781	21,515	5,064

会費入会金収入と会員向け物販収入の 当社グループの売上計上について①

FC加盟店からFC契約に基づき会費入会金収入の一部を徴収



会費入会金収入と会員向け物販収入の 当社グループの売上計上について②



米国法人買収時に発生した米ドル建て のれん・商標権などについて①

当連結会計年度決算における為替変動の影響

BS

無形固定資産(のれん・商標権) 前期末比 **29.1** 億円減 (1Q末残高 195.2 億円)

純資産(為替換算調整勘定) 前期末比 **20.7** 億円減 (1Q末残高 41.7 億円)

PL

のれん・商標権償却費 前年同期比 **0.1** 億円増 (1Q 3.8 億円)

米国法人買収時に発生した米ドル建て のれん・商標権などについて②

Curves International, Inc.買収時（2018年4月）

のれん・商標権	ドル建て	円換算(1ドル 106.24円)
	202百万ドル	215億円

のれん・商標権償却(期間20年) 定額償却 年間**10百万ドル**

前期（24年8月期）

のれん・商標権	ドル建て	円換算(1ドル161.07円)
期末残高	139.3百万ドル	224億円

のれん・商標権償却	ドル建て	円換算(1ドル149.58円 ※1Qは145.44円)
通期	10百万ドル	15.1億円
1Q	2.5百万ドル	3.6億円

当期（25年8月期1Q）

のれん・商標権	ドル建て	円換算(1ドル142.73円 前期末比18.34円円高)
1Q末残高	136.7百万ドル	195億円(前期末比29.1億円減少)

のれん・商標権償却	ドル建て	円換算(1ドル150.26円 前年同期比4.82円円安)
1Q	2.5百万ドル	3.8億円(前年同期比0.1億円増加)

■ カーブスグループの概要

私達は、
正しい運動習慣を広めることを通じて、
お客様と私達自身の豊かな人生と、
社会の問題の解決を実現します。

私達が目指すもの

病気と介護の不安と孤独のない
生きるエネルギーが溢れる社会をつくる



動画「10年後のカーブス」

<https://youtu.be/XKuPtwwnNIE>

基本方針

『地域密着の健康インフラ』を目指し、
社会課題の解決に貢献します。








カーブスグループは創業から掲げる経営理念、

事業目的 : 病気と介護の不安と孤独のない
生きるエネルギーが溢れる社会をつくる

私達の使命 : 私達は、
正しい運動習慣を広めることを通じて、
お客様と私達自身の豊かな人生と、
社会の問題の解決を実現します。

に基づき『地域密着の健康インフラ』として社会課題の解決に貢献することを第一義として経営をして参りました。お客様、フランチャイズ加盟店、ともに働く人達を含めたステークホルダーの皆様とともに、社会・環境をより良くしていくことに努めることでサステナビリティ経営を実践して参ります。



-  ① 『地域密着の健康インフラ』として
お客様と社会の心身の健康への貢献
-  ② お客様の安全・安心No.1を目指した運営
-  ③ 環境にやさしく気候変動リスクが低い
ビジネスモデルづくりと店舗運営
-  ④ やりがいと働きがいに溢れる一人一人が輝く
人材育成・職場づくり・組織運営
-  ⑤ 地域社会への貢献
-  ⑥ サプライチェーンにおける公平公正な取引と
人権・人間性の尊重
-  ⑦ 実効性の高いコーポレートガバナンス



「女性だけの30分健康フィットネス カーブス」の強み⁴⁶

1.50歳からのカーブス

お客様は女性だけ、体の変化が気になる50歳前後以上の方々を中心に、とくに運動が苦手、経験がないという方々に支持されています。

2.わずか30分で高い効果、独自のエクササイズプログラム カーブスワークアウト

カーブスの運動は、「筋力トレーニング」「有酸素運動」「ストレッチ」を組み合わせたサーキットトレーニングです。1回わずか30分で、女性に必要なすべての運動ができる独自の運動プログラムは、各種研究機関との共同研究により、その効果が科学的に実証されています。



カーブスのサーキットトレーニング

筋力トレーニング

筋肉・関節・骨を強化する

12台のマシンで全身の筋肉を鍛えます
筋肉が増えることで基礎代謝が高まり、脂肪を燃やしやすいつ体をつくる

有酸素運動

心肺機能を高め、脂肪を燃やす

ボードのうえで足踏みなどを行います
筋力トレーニングと交互に行うことで脂肪燃焼効果が高まる

ストレッチ

筋肉や関節の柔軟性を高める

12種類のストレッチで筋肉を伸ばします
筋力トレーニングの直後に行うことでトレーニング効果が高まる

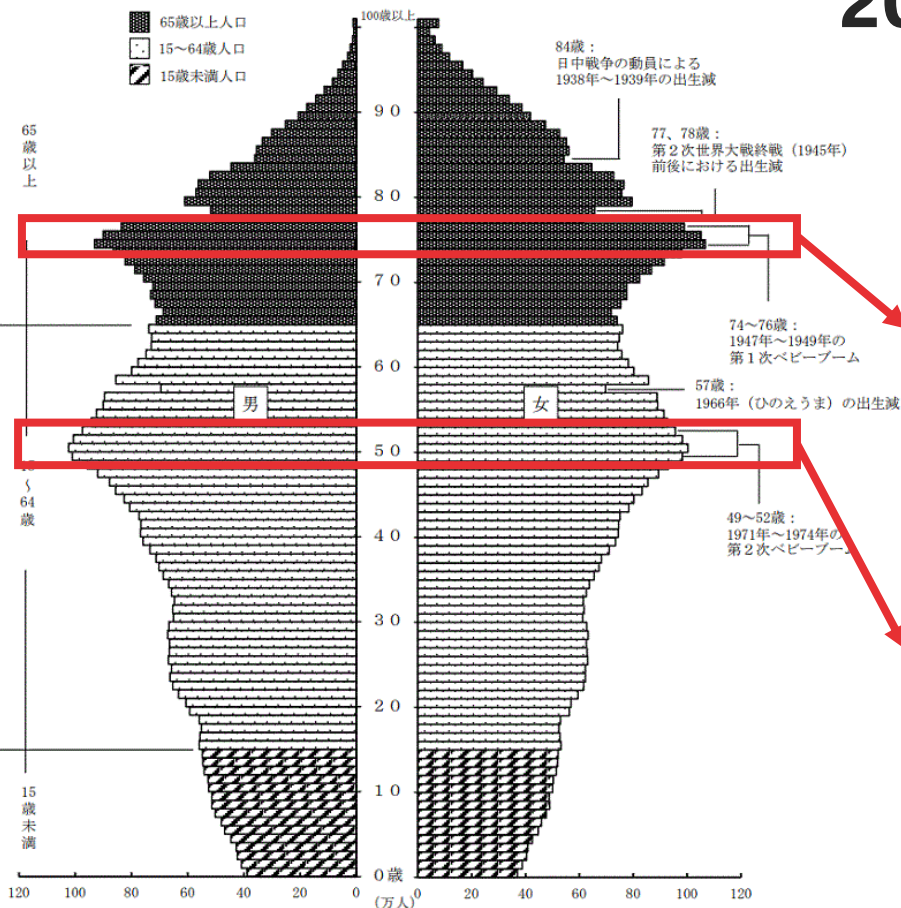
3つの運動を同時に行うことで、それぞれの運動を単独で行うより短時間で効率よく、高い効果が得られます

3.始めやすく 続けやすい

- 予約不要、わずか30分
- 生活圏への出店で通いやすい
- カーブスコーチの親身なサポート
- 女性同士のコミュニティ

日本の人口ピラミッド

図2 我が国の人口ピラミッド (2023年10月1日現在)



出典：総務省統計局
人口推計（2023年（令和5年）10月1日現在）
<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/2023np/index.html>

2つのベビーブーマーと 2025年以降の健康課題、市場機会

団塊世代

（第一次ベビーブーマー）

・2025年に全員が後期高齢者（75歳以上）に

☞ 介護予防、フレイル予防の市場が拡大

団塊ジュニア世代

（第二次ベビーブーマー）

・2025年、続々と50代以上に

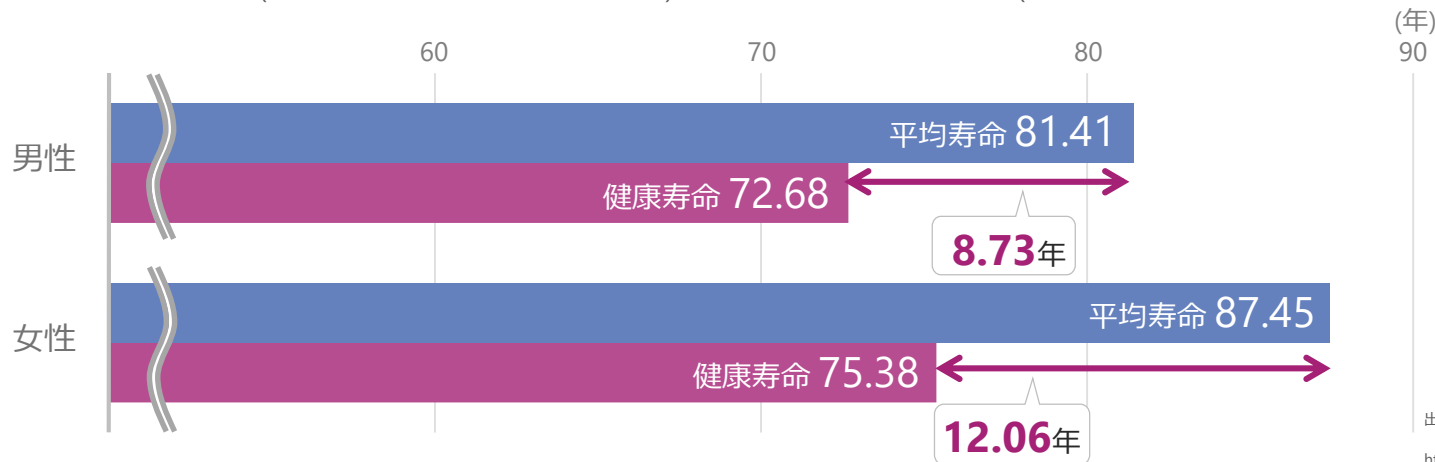
☞ メタボ、生活習慣病予備軍が増大

☞ 新しい健康市場が拡大

健康寿命延伸が課題に

平均寿命と健康寿命の差(2019年)

■ 平均寿命 ■ 健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均) ↔ 平均寿命と健康寿命の差(日常生活に制限のある「不健康な期間」)



出典：厚生労働省
健康寿命の令和元年値についてをもとに当社作成
<https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/000872952.pdf>

厚生労働省、「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」策定

2024年1月に発表された「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」にて、**国が初めて運動のなかで「筋カトレニング」を推奨。**

さらに**高齢者には、多要素な運動(有酸素運動+「筋カトレニング」+バランス運動などを組み合わせたサーキットトレーニング**などを週3日以上を、新たな推奨事項として明記。

「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」とは？

日本における身体運動・運動分野のガイドライン。厚生労働省が推進する「健康日本21（第三次）」における身体活動・運動分野の取組を推進するため身体活動・運動に係る推奨事項や参考情報をまとめたもの。

出典：厚生労働省
健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/undou/index.html

《健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023 推奨事項一覧》

全体の方向性

個人差を踏まえ、強度や量を調整し、可能なものから取り組む
今よりも少しでも多く身体を動かす

対象者※1	身体活動※2 (=生活活動※3+運動※4)	座位行動※6
高齢者	歩行又はそれと同等以上の(3メッツ以上の強度の) 身体活動を 1日40分以上 (1日約 6,000歩 以上) (=週15メッツ・時以上)	運動 有酸素運動・筋カトレニング・バランス運動・柔軟運動など多要素な運動を週3日以上 【筋カトレニング※5を週2~3日】
成人	歩行又はそれと同等以上の(3メッツ以上の強度の) 身体活動を 1日60分以上 (1日約 8,000歩 以上) (=週23メッツ・時以上)	
子ども (※身体を動かす時間が少ない子どもが対象)	(参考) ・中強度以上(3メッツ以上)の身体活動(主に有酸素性身体活動)を1日60分以上行う ・高強度の有酸素性身体活動や筋内・骨を強化する身体活動を週3日以上行う ・身体を動かす時間の長短にかかわらず、座りっぱなしの時間を減らす。特に余暇のスクリーンタイム※7を減らす。	

※1 生活習慣、生活様式、環境要因等の影響により、身体の状態等の個人差が大きいため、「高齢者」「成人」「子ども」について特定の年齢で区切ることは適当でなく、個人の状況に応じて取組を行うことが重要であると考えられる。
 ※2 安静にしている状態よりも多くのエネルギーを消費する骨格筋の収縮を伴う全ての活動。
 ※3 身体活動の一部で、日常生活における家事・労働・通勤・通学などに伴う活動。
 ※4 身体活動の一部で、スポーツやフィットネスなどの健康・体力の維持・増進を目的として、計画的・定期的に実施する活動。
 ※5 負荷をかけて筋力を向上させるための運動。筋トレマシンやダンベルなどを使用するウエイトトレーニングだけでなく、自重で行う腕立て伏せやスクワットなどの運動も含まれる。
 ※6 座位や臥位の状態で行われる、エネルギー消費が1.5メッツ以下の全ての覚醒中の行動で、例えば、デスクワークをすることや、座ったり寝ころんだ状態でテレビやスマートフォンを見ること。
 ※7 テレビやDVDを観ることや、テレビゲーム、スマートフォンの利用など、スクリーンの前で過ごす時間のこと。

筋肉の減少が引き起こす女性の健康問題

カーブスの顧客層の中心は50歳以上の女性です。

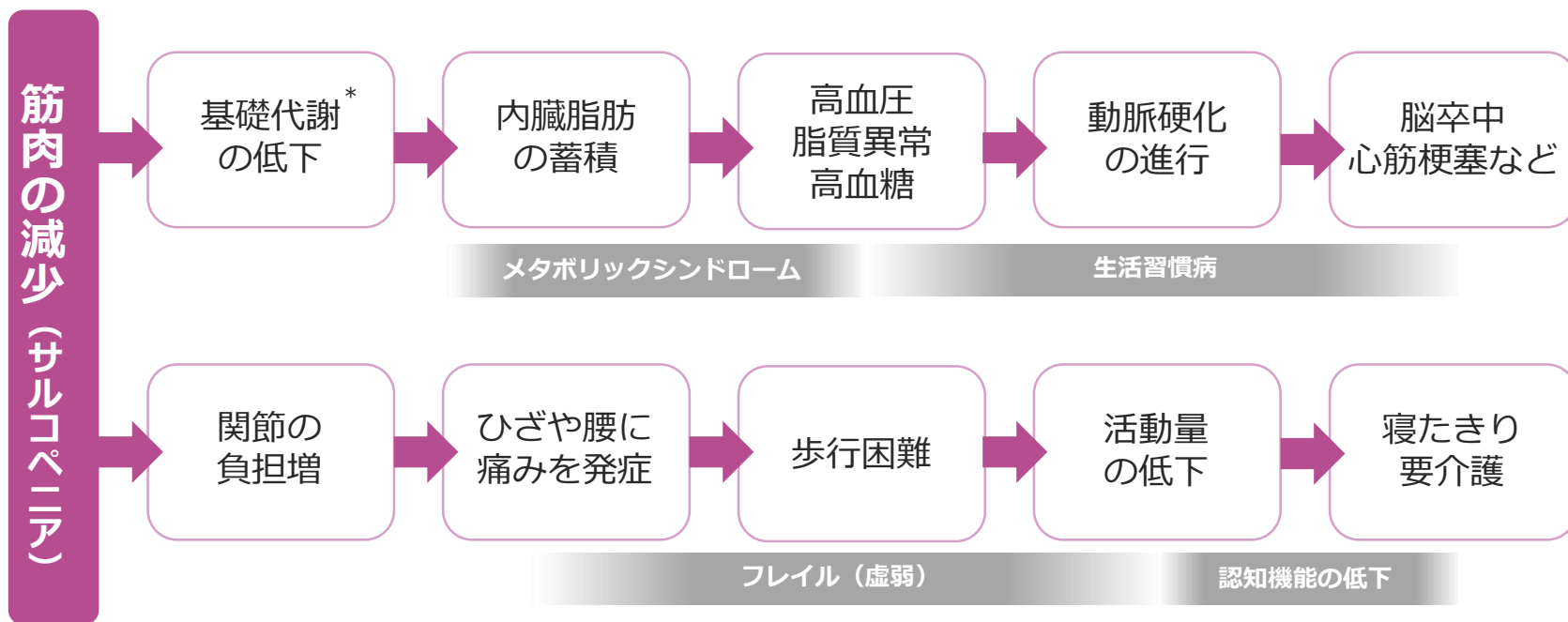
女性は30歳を過ぎると年に1%ずつ筋肉が減っていくと言われ、40代後半頃から影響が表れるようになります。

筋肉が減ると基礎代謝が下がり、脂肪がつきやすい、痩せにくい体になるのです。

また、お腹まわりに内臓脂肪が蓄積することで血圧や血糖値などの健康数値が悪化し、生活習慣病を発症しやすくなります。

さらに、筋肉の減少はひざ・腰など関節の痛みにもつながります。

これらを放置すると、脳卒中や心筋梗塞などの命にかかわる病気や寝たきり・要介護のリスクを高めることになってしまいます。



*基礎代謝とは、生命活動を維持するのに必要最低限のエネルギーのこと。基礎代謝量は筋肉量に比例し、筋肉が多いほど基礎代謝が高く、消費エネルギーが増えるため、脂肪がつきにくくなる。

カーブスグループのビジネスモデル

ビジネスモデル

1. 鮮明な市場定義

- 女性だけ、50歳からのカーブス
- 運動はしなくても、でも、やっていない人達のためのフィットネス、健康サービス

市場定義の明確化によって、
●顧客と市場をよく知る、深く知る
●顧客への提供価値の継続的革新が可能

2. 高品質なサービスの開発と提供

- ① わずか30分で高い効果、独自のエクササイズプログラム『カーブスワークアウト』
 - 筋トレ・有酸素運動・ストレッチ
 - 効果が科学的なエビデンスで証明されている
- ② コーチによる丁寧で親身な運動サポート
- ③ 女性同士の温かく励ましあうコミュニティ
- ④ わずか30分、予約なし、家の近くで

顧客と市場の潜在ニーズと
不と非に応え続ける

3. 新市場を創造するマーケティング

- 口コミ紹介マーケティング
- 対象顧客の潜在ニーズを捉えたマーケティング

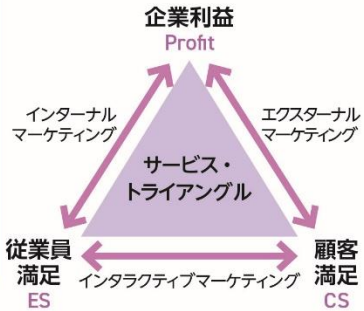
潜在顧客のニーズ・
不と非をピンポイントで捉える

4. 顧客の健康課題解決と物販

- 自社企画開発のオリジナル商品
- 定期購入方式
- 顧客の健康相談からの商品提案

顧客の潜在的な
健康課題、お悩み、不と非を深く知り、
その解決提案としての
商品企画開発

1. サービス・トライアングルの善循環をつくる経営



2. LTV (顧客生涯価値)を高め続ける経営

- 高い継続率
- 口コミ紹介
- 健康課題解決による物販拡大

当社における
低投資での
高収益・高キャッシュ
創出力

再投資による
ビジネスモデル
FCモデルの
継続的強化

フランチャイズモデル

① 低投資/高収益/
高参入障壁の
ビジネスモデル
構築

② 使命への情熱と
価値観が共有
されたFCジーが
事業に参画・出店

③ 経営/事業運営/
人材育成の
教育とサポート

④ 集合知による
全員参画型経営

⑤ FCジーの
成功・高収益化

⑥ FCジーによる
多店舗展開出店
が加速

FCジーとのエンゲージメントを深める

※FCジー＝フランチャイジー (フランチャイズ加盟企業)

株式会社カーブスホールディングス
(グループ持株会社)

株式会社カーブスジャパン

日本フランチャイズ本部事業

株式会社ハイ・スタンダード

グループ直営店事業

Curves International, Inc.

グローバルフランチャイザー事業

Curves Europe B.V.

欧州フランチャイズ本部事業

事業概要

- 「女性だけの30分健康フィットネス カーブス」を展開
- 国内店舗数1,984店舗（直営 79店舗、FC 1,905店舗）
（2024年11月末時点）

基礎データ

- 所在地：東京都港区芝浦3-9-1芝浦ルネサイトタワー11F
- 設立⁽¹⁾：2005年2月
- 売上高⁽²⁾：354億円
- 資本金⁽²⁾： 8億円

注：
1.カーブスジャパンの設立日。カーブスホールディングスは2008年10月設立
2.2024年8月期

沿革

- 2005年02月 ベンチャー・リンクによりカーブスジャパン設立（世界総本部とマスターライセンス契約）
- 2006年03月 フランチャイズによる全国展開スタート
- 2006年06月 100店舗を突破
- 2008年10月 コシダカホールディングスの連結子会社となる
- 2011年06月 1,000店舗を突破
- 2015年06月 神奈川県認証施設「未病センター」第一号である「未病センターカーブス小田原」を開設
- 2018年03月 Curves International, Inc.（世界総本部）を買収
- 2018年11月 メンズ・カーブス（茅野店）を開設
- 2019年07月 CFW International Management B.V.（現・Curves Europe B.V. 欧州FC本部）を買収
- 2019年10月 2,000店舗を突破
- 2020年03月 株式分配型スピンオフにより東京証券取引所市場第1部に株式を上場
- 2022年04月 東京証券取引所「プライム市場」へ移行

お問い合わせ

▶ IRについてのお問い合わせ

カーブスホールディングス

TEL : 03-6777-0039

e-Mail : curves-ir@curves.co.jp

URL : <https://www.curvesholdings.co.jp/>

証券コード : 7085

本資料は、2025年8月期第1四半期の決算数値をもとに、企業情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2025年1月14日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。

本決算に記載されている当社および当社グループ以外の企業や業界等にかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。